

先週のマーケット動向(10月25日～10月29日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,178.0	1,178.5	1,164.0	1,168.6	▲8.5
JPY/KRW	10.3633	10.3739	10.2066	10.3021	▲0.025
KOSPI	3,001.10	3,051.65	2,983.29	3,009.55	+3.39

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。25日のドル/ウォンは1,178.0でオープン。序盤から外国人投資家による株買いが入ったほか、造船企業の受注報道もウォン高材料として意識され、ドル/ウォンは下落。午後には、月末の実需のウォン買いやロングポジションのロスカットと思われる動きもあり1,170ウォンを下抜けた。26日は市場予想比弱い韓国3Q GDPがあったものの、実需のウォン買いに加え、ドル/ウォンのロングポジションのロスカットと思われる取引も見られ、週安値1,164.0まで下落した。27日以降は、外国人投資家の韓国株売りや中国不動産企業のデフォルトリスクが再び浮上する等リスクオフのドル買い材料が出てきたほか、カナダ中銀による利上げ予定時期前倒し等あり、ドル/ウォンはやや反発。28日ECB会合でもPEPP(パンデミック緊急債券買取)を全額行う必要はないと発言したこと等をきっかけに欧米国債金利が上昇したことから、月末の実需のウォン買いが相応にあるにもかかわらずドル/ウォンの下値が固い状況が継続した。結局、先週末対比8.5ウォン下落の1,168.6ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや上昇する展開を予想する。10月下旬にはFED高官が原油価格高騰やサプライチェーンのひっ迫を背景とした高インフレが暫く継続する可能性を指摘しており、11月4日に行われる米FOMCは利上げの更なる前倒しに関するサインが出る可能性があるだろう。先週行われたECBやカナダ中銀金融政策決定会合でも高インフレを意識して金融正常化のタイミング前倒しが示唆されている。かかる状況下、市場全体でドル買い優勢となりドル/ウォンも上昇する展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1165 ~ 1190	10.15 ~ 10.45	113.2 ~ 115.2

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 1日(月) 米 10月 製造業PMI 確報値
- 欧 10月 製造業PMI 確報値
- 米 10月 ISM製造業景況指数 確定値
- 2日(火) 韓 10月 CPI 確定値
- 3日(水) 欧 10月 サービス業PMI 確報値
- 米 10月 サービス業PMI 確報値
- 米 9月 耐久財受注 確報値
- 中 10月 総合PMI 確定値
- 中 10月 サービス業PMI 確定値
- 米 9月 製造業受注 速報値
- 米 10月 ISM非製造業景況指数 確定値
- 米 10月 ADP雇用統計 確定値
- 米 FOMC 政策金利発表
- 5日(金) 韓 9月 国際収支 速報値
- 米 10月 非農業部門雇用者数 確定値
- 米 10月 失業率 確定値